

## 防災航空隊と連携した消火訓練を実施

苫小牧市消防本部

苫小牧市消防本部では6月24日（水）、苫小牧市汐見町ケーソンヤードにおいて、北海道防災航空隊と連携した消火訓練を実施しました。

水利不便地区での大規模な林野火災を想定し、上空偵察情報や戦術の共有、航空隊散水用バケツへの給水、航空隊による散水訓練を行いました。

この訓練により、北海道防災航空隊との連携と消火戦術を強化し、消防力の向上を図ることができました。



## 解体予定の耐火建築物を活用した警防活動実践訓練を実施

箱根町消防本部

箱根町消防本部では、藤田観光(株)箱根小涌園のご協力により解体予定の「旧箱根ホテル小涌園」を活用し、延べ65名の隊員が警防活動実践訓練を実施しました。この訓練では、大規模災害等で倒壊した耐火建築物からの救出技術等の向上を目的に、コンクリートの床や窓ガラス等の破壊、防火戸や防火シャッターの切断を実施。進入路及び救出活動スペースを確保し、安全に要救助者を救出するまでの一連の活動を実際の現場に近い状況下において、実践に必要な知識・技術の向上を図りました。



## 消防通信 望楼 ぼうろう

## 危険物製造所等完成検査実習（OJT）を実施

松本広域消防局

松本広域消防局では、令和2年5月27日（水）ソヤノウッドパワー株式会社様の協力を得て、今秋稼働を予定する国内最大規模の木質バイオマス発電施設において、管轄消防署の職員を対象に危険物製造所等完成検査実習（OJT）を実施しました。

日頃、危険物規制事務を担当していない職員からは、「検査を現場で実際に体験することにより、危険物製造所等に対する理解が深まった。」など積極的な意見も多く出され、有意義な実習となりました。

今後も当消防局では、地域住民の安心・安全を支える職員の育成に努めます。



## 土砂埋没救助訓練を実施しました

東大阪市消防局

東大阪市消防局では、東大阪市の山間部を管轄区域とする東消防署が、土砂災害の発生に備え、資機（器）材を使用した効果的な掘削技術の習熟及び救出活動の基礎を作ることを目的に訓練を実施しました。近年は、ゲリラ豪雨や線状降水帯により、局地的な集中豪雨による被害が日本全国で毎年のように発生しています。各隊員は有事の際に対応できるよう、資機（器）材の取扱いから活動要領、安全管理等について習熟しました。

